

平成28年度事業報告

I. 一般会務

1. 協会の構成(平成29年3月31日現在)

顧問	2名
理事	17名
監事	2名
評議員	11名
事務職員	19名(常勤嘱託7名、非常勤嘱託1名含む)

2. 会議

(1) 理事会

1) 平成28年度第1回理事会

議案：第1号 第1回評議員会招集の決定について
議決：原案通り承認可決された。

(平成28年5月23日 書面または電磁的記録による)

2) 平成28年度第2回理事会

開催日時：平成28年6月7日(火曜日) 14時～16時

会場：横浜市中区新港2-3-1 JICA 横浜1階 会議室1

議案：第1号 平成27年度事業報告及び決算承認の件
第2号 平成28年度収支予算一部変更承認の件
第3号 業務執行理事選定の件
第4号 第57回海外日系人大会の件

議決：原案通り承認可決された。

3) 平成28年度第3回理事会

議案：第1号 代表理事及び業務執行理事選定の件
議決：原案通り承認可決された。

(平成28年6月30日 書面または電磁的記録による)

4) 平成28年度第4回理事会

議案：第1号 第2回評議員会招集の決定について

議 決： 原案通り承認可決された。
(平成29年3月11日 書面または電磁的記録による)

5)平成28年度第5回理事会

開催日時： 平成29年3月14日(火曜日) 14時～16時
会 場： 横浜市中区新港2-3-1 JICA 横浜4階 やまゆり
議 案： 第1号 平成29年度事業報告及び決算承認の件
第2号 特定費用準備資金取扱規程制定の件
議 決： 原案通り承認可決された。

(2)評議員会

1)平成28年度第1回評議員会

開催日時： 平成28年6月23日(木曜日) 14時～15時半
会 場： 横浜市中区新港2-3-1 JICA 横浜1階 会議室1
議 案： 第1号 平成27年度事業報告及び決算承認の件
第2号 平成28年度収支予算一部変更承認の件
第3号 理事・評議員の改選・選任の件
議 決： 原案通り承認可決された。

2)平成28年度第2回評議員会

開催日時： 平成29年3月29日(水曜日) 10時半～11時半
会 場： 横浜市中区新港2-3-1 JICA 横浜1階 会議室1
議 案： 第1号 平成29年度事業計画及び収支予算(案)承認の件
議 決： 原案通り承認可決された。

(3)業務執行理事会

1)平成28年度第1回業務執行理事会

開催日時： 平成28年8月30日(火曜日) 14時～17時
会 場： 横浜市中区新港2-3-1 JICA 横浜1階 セミナールーム10
議 題： 第57回海外日系人大会について

2)平成28年度第2回業務執行理事会

開催日時： 平成28年10月19日(水曜日) 16時～18時
会 場： 横浜市中区新港2-3-1 JICA 横浜1階 セミナールーム10
議 題： 第57回海外日系人大会について

3) 平成28年度第3回業務執行理事会

開催日時：平成28年12月21日(水曜日) 15時～17時半

会場：横浜市中区新港2-3-1 JICA 横浜1階 セミナールーム10

議題：①第57回海外日系人大会振り返り

②平成28年度業務実施状況と収支見込

4) 平成28年度第4回業務執行理事会

開催日時：平成29年2月22日(水曜日) 16時～18時半

会場：横浜市中区新港2-3-1 JICA 横浜1階 セミナールーム9

議題：平成28年度第5回理事会議案について

II. 事業の実施

1. 海外日系人大会開催事業

本事業は、年1回、海外在住の日系人が本邦で一堂に会し、在住国の実情を日本に紹介し、あわせて在住国と日本との間における国際協力、国際交流、国際理解、国際親善を深め、対日理解の促進と強化を図ることを目的としている。

平成28年度においては、「21世紀の日系人像」をテーマに第57回大会を開催し、協会主催歓迎交流会に秋篠宮同妃両殿下に御臨席をいただいたのをはじめ、岸田文雄外務大臣主催レセプション、大島理森衆議院議長、伊藤忠一参議院議長両院主催の昼食会への招待を受けた。国際シンポジウムでは、スポーツを通じた日系社会連携強化や、各国・地域の21世紀の日系人像を中心としたプレゼンテーションを行った他、分科会においては、テーマに基づく日系社会の課題等が討議され、7項目の大会宣言として採択された。

大会前日には、プレ・オープニングイベントとして昨年度から引き続き株式会社第一興商の協賛により「第2回国際日系歌謡大会」を開催し、出場者・観覧者の双方より好評を得た。

開催日：平成28年10月24日～10月26日(3日間)

開催場所：憲政記念館、JICA市ヶ谷ビル

総合テーマ：21世紀の日系人像

参加者数：20カ国、212名

2. 内外日系社会広報事業

(1)「ニッケイ・ネットワーク(海外日系人協会だより)」紙発行

当協会の実施事業、移住者・日系人・日系社会にまつわる国内外の情報、日系人相談センター相談事例、ブラジル・サンパウロの「国外就労者情報援護センター」(CIATE)による日系人の情報等を発信するものである。平成28年度においては、4回(29号～32号)、各号4,000部を発行し配送した。

(2)協会WEBサイト・国際日系ネット運営

FacebookやTwitterとの連動、クレジットカードのWEB決済導入等により年々WEBサイトの充実と利用者の利便性向上を図っている。平成28年度は4月に発生した熊本地震被災地への募金活動をWEB上で行い、集まった義捐金を熊本県に送金した。また、引き続きWEBサイトを通じた訴求力のある情報発信を心がけ、バナー広告により、さらに収入増を図った。

尚、国内外の日系社会並びに関係機関との相互の情報交換の場として当協会WEBサイト内に運営している国際日系ネットには、平成28年度において8カ国19団

体が参加している。

(3) 海外日系新聞放送協会支援

本業務は、海外に所在する日系新聞・ラジオの報道機関20社により組織され、当協会に事務局を置く「一般社団法人海外日系新聞放送協会」が、日本において開催する年次総会および主催事業を支援するものである。

平成28年度は、10月に東京において第43回年次大会(参加者は5カ国10名)の開催を支援した。また、安倍首相が海外の元首と会談した際の政府広報に関わった。

3. 在日日系人対応事業

(1) 日系人相談センター

本業務は、海外日系人協会内に設置されている「日系人相談センター」の常設電話窓口において、日系人からの生活相談等に対し、対処方法の指導、知識・情報の提供、関係機関・団体の紹介・取り次ぎ等を日本語、スペイン語、ポルトガル語により実施するものである。更に、機関紙「ニッケイ・ネットワーク(海外日系人協会だより)」(No. 29~32)の中で、日系人雇用企業、地方自治体、NGO等に対し日系人の就労等に係る情報を提供している。

平成28年度においては、270名、299件の相談に対処した。

(2) 在日日系人のための生活相談員セミナー

各地方自治体や地域の国際交流協会等においては、日系人に係る種々の問題に対処すべく、相談窓口が設置され相談業務が実施されている。

本業務は、当協会が設置している日系人相談センターの業務を軸として、地方自治体等の相談担当者間の連携強化や、情報・知識の共有を図り、相談対応業務の円滑化を図ることを目的としている。

平成28年度においては、下記のとおりセミナーを開催した。

開催日：平成29年1月23日

開催場所：JICA横浜

テーマ：「在日外国人就労者のメンタルヘルス」等

参加人数：64名

4. 日系社会との連携強化事業

(1) ブラジル・ビジネスセミナー

本業務は、ブラジル等中南米地域へ進出を検討している、もしくは関心がある企

業を対象にブラジル・ビジネスセミナーを開催し、それら企業へブラジルのビジネス事情、中小企業海外展開事業等について情報提供するものである。

平成28年度は、ブラジル経済の悪化等の状況により実施に至らなかった。

(2) 日系社会視察の旅

本業務は、中南米諸国で活動している日系社会青年・シニアボランティアをその親族が訪問する「日系社会ボランティア親族現地視察団派遣」と、海外に移住した移住者をその親族が訪問する「移住家族南米訪問団派遣」で構成されている。

平成28年度は、過去3年に亘り申込者が最少催行人員に満たなかったことに鑑み、募集を見送った。

5. 継承日本語教育事業

本事業は、日系社会において親から子へと世代とともに継承されていくべき日本語教育の普及を目的として当協会内に設置した「継承日本語教育センター」を運営するものである。

平成28年度においては、そのノウハウを日系研修の日系継承教育コースプログラム策定に活用した。さらに、同研修において「継承日本語教育の実践と方法」等について講義を行い、継承日本語教育の理解と普及に努めた。

6. 日本財団日系スカラーシップ事業(日本財団)

日本財団は、居住国と日本との間の理解促進や居住国・地域社会の発展に貢献するための具体的な計画や夢を持つ若い日系人に対し、その実現のため日本留学の機会を与える事業を実施している。

本事業は、当該事業の留学生の募集・選考・受入準備・奨学金の支給等の業務を実施するものである。

平成28年度においては、8カ国よりの留学生28名に対する業務を実施した。

7. 日系研修員研修事業(JICA)

本事業は、JICA日系研修員受入事業の受託であり、日系社会において人材の育成が求められている分野について、その研修の実施を協会が提案し、JICAの承認を受けて実施される。

平成28年度においては、次のとおり実施した。なお、資格要件を満たす研修員応募者が不足したコースについては、実施に至らなかった。

コース	研修コース	人数	研修期間	研修内容
集団	日系継承教育 教師育成 I	7	3ヶ月	初級前半の日本語及び日本文化活動指導研修
	日系日本語学校の経営管理	6	1ヶ月	日系日本語学校を運営するための知識、経営者・管理者としての能力の向上及び日系継承語教育の知識を習得する研修
	食を通じた日系団体婦人部活性化	7	1ヶ月	日本食を通じ婦人部活動および地域活性化を図るための研修
	ソーシャルビジネスと日系団体運営管理	6	1ヶ月	団体運営手法に関する知識やコミュニティビジネス、種々の事業に関する講義及び活動現場の視察
	小計	26		
個別 長期	日系医学	1	9ヶ月	日系医師育成を目的とした長期の研修
	小計	1		
個別 短期	日系医学	4	3ヶ月	日系医師育成を目的とした短期の研修
	日系歯学	1	1ヶ月	日系歯科医師育成を目的とした短期の研修
	非営利団体の運営管理	2	1ヶ月	ドミニカ共和国の日系団体において次世代を担う人材の育成を目的とした研修
	小計	7		
計		34		

8. 日系研修導入・実施支援事業(JICA)

(1) 日系研修実施支援

本業務は、JICAが受入れる日系研修員に対し、日本国内における研修や生活の円滑化を図ることを目的として、次の業務を行うものである。

①ブリーフィング・オリエンテーション業務

ブリーフィング業務では、生活諸手当、防災についてなど、研修員の生活全般についての説明を行った。

オリエンテーション業務では日本について理解を深めてもらうため、日本の経済、政治・行政、歴史・文化、教育制度、海外移住等についての講義及び海外移住資料館見学を行った。

平成28年度においては、合計8回、139名に対して実施した。

②国内移動手配業務

日系研修員の学会参加、研修・視察旅行に係る切符・宿泊の手配、旅費・交通費の振込などを行った。

平成28年度においては、合計260件を処理した。

③受入支援業務

来日前の応募書類受付および受入回答関連業務、来日後の滞在費、宿泊費調整等を行った。

平成28年度においては、281件の応募書類受付、139件の受入回答関連業務を行った。

(2)日本語研修

本業務は、日系研修員のうち日本語能力の不十分な者に対し、技術研修開始前に研修効果をより高めることを目的とした日本語理解力アップ重視の研修を実施するものである。

平成28年度においては、106名の日系研修員が受講した。

9. 日系社会次世代育成研修事業(JICA)

本事業は、北中南米諸国において日本語を学んでいる12才から16才の生徒のうち、成績優秀な者を1カ月間日本に招へいし、日本語学習への意欲の向上、日本理解の促進、ひいては現地日本語教育の振興、人材育成に寄与せしめることを目的とし、中学校への体験入学及びホームステイ並びに見学研修を実施するものである。

平成28年度においては、下記のとおり2回の研修を実施した。

第1陣 平成28年6月15日～7月13日

対象地域：北中米地域 5カ国 研修生徒数：13名

第2陣 平成29年1月11日～2月8日

対象地域：南米地域 5カ国 研修生徒数：36名

10. 日系社会ボランティア支援事業(JICA)

JICAは、移住者・日系人社会を通じた技術協力事業並びに移住者・日系人社会支援事業の一環として、中南米の日系社会の一層の発展を図ることにより、その社会の属する地域や国の発展を図ることを目的として、日系社会の要望に応じ、優秀な技術と奉仕の精神に富んだ日本の青年及びシニアのボランティアを2カ年間派遣する日系社会ボランティア派遣事業を実施している。

本事業は、ボランティアの派遣前訓練および技術補完研修を実施するものである。

平成28年度の派遣前訓練は、青年47名、シニア22名、計69名を対象に実施し、さらに青年25名、シニア8名、計33名を対象に技術補完研修を実施した。

11. 移住者・日系人支援にかかる運営管理業務(JICA)

(1) 移住者の団体に対する助成金交付の実施促進

JICAは、中南米の日系団体が自主的に行う医療衛生対策、教育文化対策及び施設等整備等の事業に対して、助成金の交付による援助指導事業を行っている。

本業務は、当該助成金交付に係る、実施計画の作成と精算の事務手続に関する業務を実施するものである。

平成28年度においては、35案件に助成金の交付が実施された。

(2) 日系社会リーダー育成

JICAは、将来の日系社会のリーダーや日本と居住国との架け橋となり得る人材を育成することを目的に、我が国の大学院に留学する日系人に対し滞在費・学費等の手当を支給している。

本業務は、支給対象者の募集・選考・受入準備・手当の支給等の業務を実施するものである。

平成28年度においては、6カ国よりの留学生20名に対し業務を実施した。

(3) 日系社会次世代育成研修(大学生招へいプログラム)

JICAは、今後の日系社会を担う世代に対する本邦での研修を通して、日本との関係強化や移住先社会の発展に貢献できるような人物を育成することを目的に、将来の日系社会の発展に貢献するのに十分素質のある日系子弟の大学生を招へいする事業を実施している。本業務は、日本人の海外移住の歴史に関する学習、本邦大学での研修、その他の各種研修を実施するものである。

平成28年度においては、下記のとおり研修を実施した。

研修期間:平成28年6月27日～7月22日

研修員数:8カ国 20名

12. 日系人就労環境改善事業(厚生労働省)

本事業は、ブラジル等に居住する日系人が我が国における就労にあたり、適正な就労経路選択等のため、来日前に情報を提供することにより、我が国における適正な就労経路の確保及び適正に就労できる環境の整備を目的とするもので、厚生労働省からの委託を受け、伯国サンパウロ市に所在する(社)国外就労者情報援護センター(CIATE)に対する支援を中心とした業務を実施している。

平成28年度においては、下記の業務を実施した。

- 1) 来日前における日系人に対する情報の提供の実施
- 2) 現地相談窓口での日系人の就労経路の適正化に関する業務の実施

3) その他、日系人の就労環境改善に関する業務

13. 海外移住資料館管理運営事業(JICA・東急コミュニティー)

JICA横浜国際センターは、我が国の海外移住の歴史及び移住者と日系人の現在の姿についての知識の普及を図るため、センター内に海外移住資料館を併設している。

本事業は、広報及び教育普及・資料館案内・保守点検・調査・企画展示・情報システム運営等の学芸業務および広報紙(海外移住資料館だより)発行など、資料館の管理運営に係わる業務を一貫して実施するものである。

平成28年度においては、過去最多 52,923人の入館者数を得た。

14. 海外出張

(1) CIATEコラボドローレス研修セミナー参加(厚生労働省受託事業関係)

出張者: 理事長、常務理事、事務局長

出張先: ブラジル

期間: 平成28年9月10日～9月11日

(2) 日本財団日系スカラシップ選考面接(日本財団助成事業関係)

出張者: 業務部長代理(日本財団日系スカラシップ事業担当)

出張先: ブラジル、ペルー

期間: 平成28年10月3日～10月13日

(3) 北米調査 アメリカ・カナダにおけるララ物資展示開催及び今後の展示交流推進

出張者: 資料館業務室職員、嘱託(海外移住資料館業務室学芸担当)

出張先: アメリカ、カナダ

期間: 平成28年11月21日～12月4日

(4) 移住者・日系人支援にかかる運営管理業務に関する調査及び広報・1

出張者: 業務部長代理

出張先: ブラジル

期間: 平成29年1月11日～1月23日

(5) 移住者・日系人支援にかかる運営管理業務に関する調査及び広報・2

出張者: 業務部長

出張先: ブラジル、ペルー

期間: 平成29年2月9日～2月21日

15. その他

(1)海外移住家族会地方ブロック会議等への参加

群馬県海外移住家族会総会

開催日：平成28年7月5日

主催：群馬県海外移住家族会

開催場所：群馬県前橋市

海外移住家族会近畿ブロック会議

開催日：平成28年12月7日～12月8日

主催：大阪府海外移住家族会

開催場所：大阪府大阪市

(2)熊本地震募金の実施

平成28年4月14日に発生した熊本地震に対する緊急募金窓口を設置し、国内外に募金を呼びかけた。集まった義捐金(2,083,358円)は、平成28年8月17日に熊本県にお渡しした。

以上